

科目分類	専門分野	学 年	2 年	担当教員の氏名・職名
授 業 科 目 名	コミュニケーション 論Ⅲ (精神看護と治療的 コミュニケーション)	学 期	後 期	峯尾 まゆみ (看護教員)
		単 位 数	1	
		時 間 数	16	
目 的 (ねらい)	人とわかりあえる能力は精神看護のみならず、看護全般の基礎的能力として重要である。ここでは、治療的な人間関係を構築するための基礎理論を学ぶとともに、患者-看護師関係を築くためのコミュニケーション技術について学ぶ。 また、その中で自分のコミュニケーション特性に気づき、自己理解を深める一助とする。			
目 標	1. 自己理解の必要性と方法を理解する。 2. 患者-看護師関係を築くための手法としてのコミュニケーション技術を身につける。			
授 業 計 画	回数	単元項目	内 容	授業形態
	1	看護におけるコミュニケーションの重要性	患者-看護師におけるコミュニケーション	講義・演習
	2	言語的コミュニケーションと非言語的コミュニケーション	非言語的コミュニケーション	講義・演習
	3	自己理解・他者理解	自己理解・他者理解	講義・演習
	4、5	自己受容	自己受容、印象形成	講義・演習
	6、7	対人認知、印象形成	1) 治療的コミュニケーション 2) プロセスレコード活用の目的 3) ロールプレイ	講義
	8	事例検討	1) 事例検討 (カンファレンス) について 2) 事例検討 (カンファレンス) の意義、 3) 事例検討の準備と進め方 4) 事例検討にのぞむ姿勢 5) 事例検討の実際	講義 デモスト
	教科書	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護の基礎 精神看護学① (医学書院) 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護の展開 精神看護学② (医学書院)		
参考文献	1. 自己理解・対象理解を深めるプロセスレコード 第2版 (日総研) 2. 看護場面の再構成 改訂版 (日本看護協会出版会) 3. 日常生活行動からみるヘルスアセスメント (日本看護協会出版会) 4. 知識と実践がつながる看護学生のためのコミュニケーション Lesson (メヂカルフレンド社) 5. 看護コミュニケーション、基礎から学ぶスキルとトレーニング (医学書院) 6. 精神科看護の非言語的コミュニケーションUP術 (メディカ出版) 7. 患者の心に寄り添う聞き方話し方 (メヂカルフレンド社) 8. 看護の治療的コミュニケーションと心のケア (大学教育出版)			
評価方法	定期試験 80% 態度・提出物 20% 合計 100 点満点での結果を最終評価とする。			
関連科目	心理学 看護全般			
自己学習に関する指針	毎回、授業終了ごとに振り返りをします。その回の学びをまとめておいて下さい。			
その他の 通知事項	随時質問に応じます。			